東京には未来を照らす光がある

TOKYO LIGHTS 2024

SCHEDULE

9/14（土）・15（日）

光のエンターテインメントエリア

18:00 開場 / 21:00 閉場

※飲食エリアのみ16:00開場

プロジェクションマッピング国際大会

18:00 開場 / 21:00 閉場

国際大会（第1部） 18:30-19:20

国際大会（第2部） 20:00-20:50

9/16（月・祝）

光のエンターテインメントエリア

18:00 開場 / 21:00 閉場

※飲食エリアのみ16:00開場

プロジェクションマッピング国際大会

18:00 開場 / 21:00 閉場

国際大会及び授賞式 19:00-20:50

PROJECTION MAPPING PROGRAM

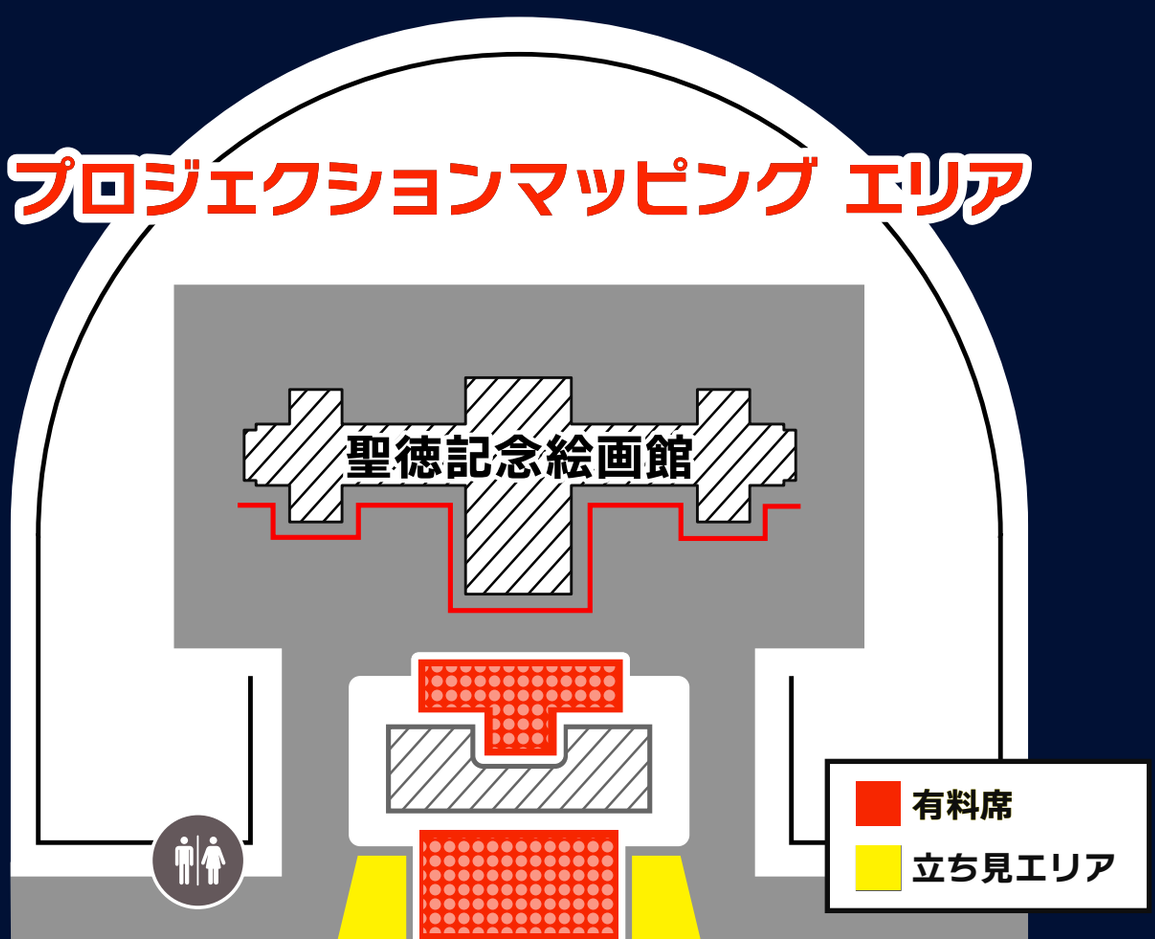
国際大会プログラム

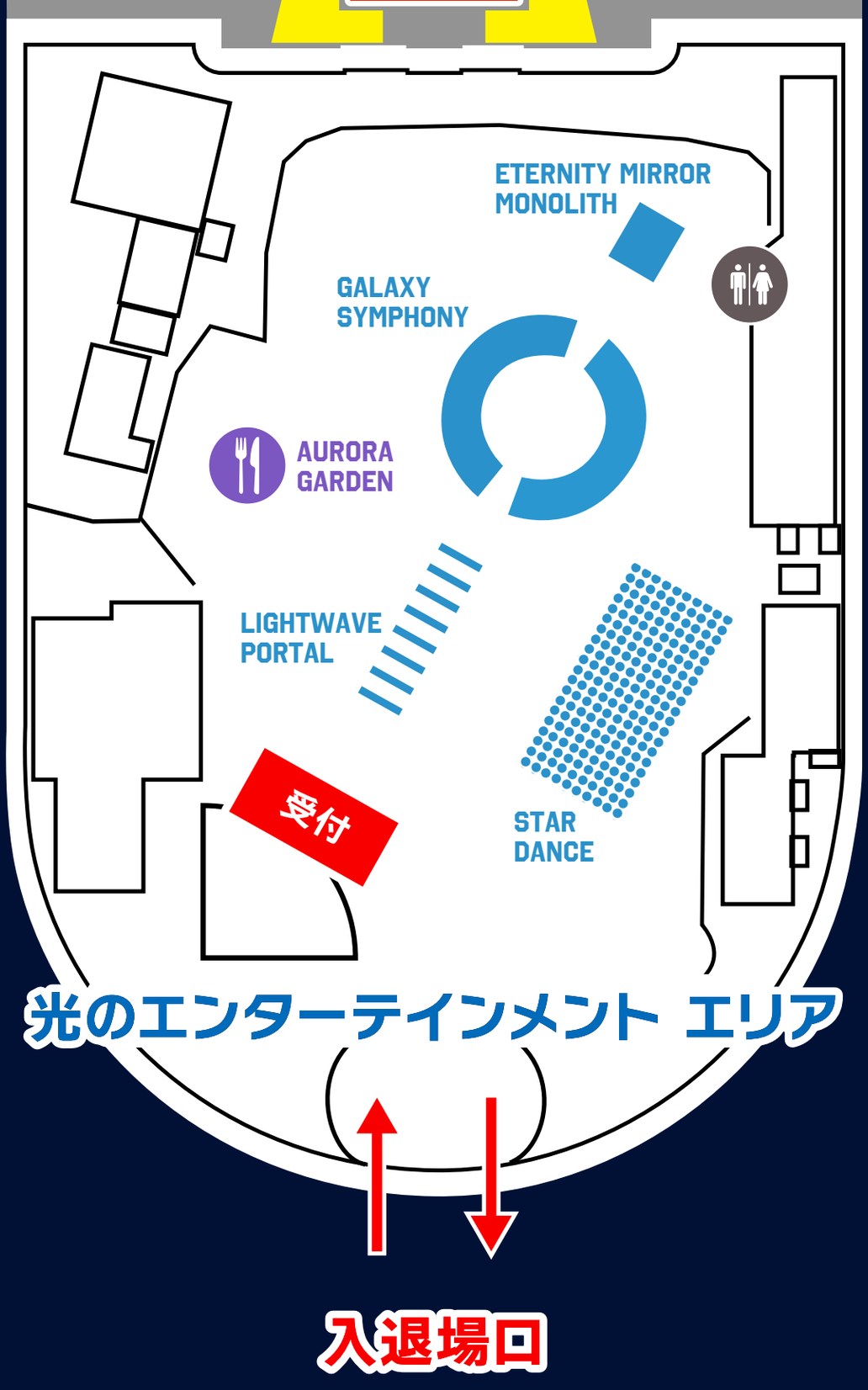
スペシャルオープニングショー

ファイナリスト作品 18 作品

招待作品　2 作品

AREA MAP




ETERNITY MIRROR
MONOLITH
GALAXY
SYMPHONY
AURORA
GARDEN
LIGHTWAVE
PORTAL
受付
STAR
DANCE
光のエンターテインメント エリア
入退場口

ONE MINUTE
PROJECTION MAPPING
COMPETITION

大会と今回の見どころについて

本大会は、2012年から始まった日本発のプロジェクションマッピング国際大会で、現在では世界最大級の、参加者数とクオリティを誇ります。1分台の短い作品ながら、世界中から集まるクリエイターたちの最高峰の競演の場であると同時に、観客のみなさんにとっても技術の進化や変化を感じることができます。ここは、プロジェクションマッピング表現の可能性を開拓し続ける場所であり、今年もファイナリストに選ばれた全18組のクリエイターが未来への扉を開きます。昨今は生成AIを始め、デジタルな技術もアナログ回帰などの試行が進み、プロジェクションマッピングは成熟期に入っております。その多様な表現を一度に見られる貴重な機会ですので、ぜひ新しい表現やクリエイターとの出会いをお楽しみ下さい。

プロデューサー挨拶

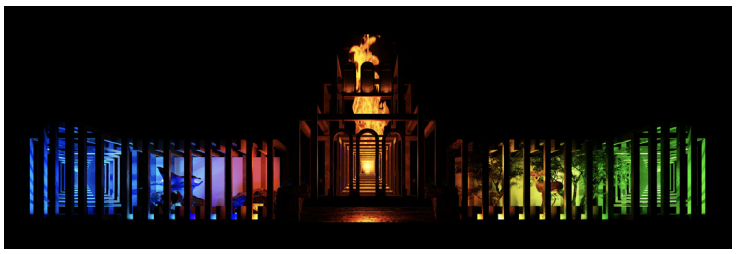
本大会は今回で12回目を迎え、気づけば世界でも最も長い歴史を誇るプロジェクションマッピング祭典のひとつに成長しています。年々注目度が高まり、作品の内容も充実し、ホストを務める我々の責任も増していることを感じています。参加してくださる世界中のクリエイター達の表現や経験、そして時間は当然ながら有限で、その労に報いることも必要です。みなさんにお見せしている作品の裏には、上映されない作品も多数存在し、その上にこのショーがあります。私たちが今日の上映を楽しむことができるのは、参加クリエイター達の情熱と技術があってこそで、皆様にも彼らの情熱や想いを感じ取っていただけましたら幸いです。プロジェクションマッピングは、AIなどの技術が入りいま新たな岐路を迎えようとしています。クリエイター達の表現もそうした変化・進化の影響を受けながらも、未来へ着実に歩みを進めています。この大会はその最前線に位置しており、ご来場いただいたみなさんと一緒にこの時間を共有できることに感謝しております。最後になりますが、この祭典を支えてくださる関係者、そしてクリエイターの皆様に改めて深く御礼申し上げます。

1minute Projection Mapping Competition 総合プロデューサー
石多 未知行

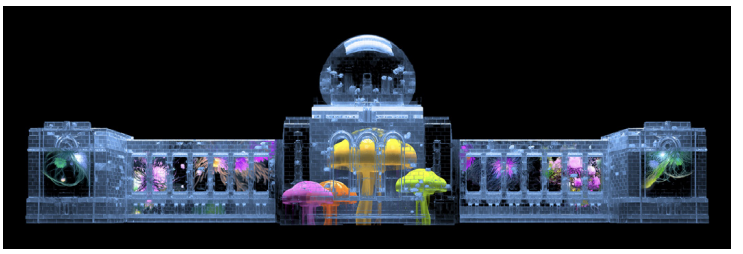
制作テーマについて

さまざまなものを映す「鏡」は不思議な存在です。そこに映るのは現実の姿でありながら虚像でもあり、時に別次元を感じさせることもあります。あるいは童話に登場する鏡のように、そこに見る者の内面や願望を映し出すかもしれません。日本語では「心や時代を映す」象徴としての鏡、人の見本になるような人物を指しての「鏡」と表現されることもあります。自分が対峙しているモノは真実の姿か、または未来や歪んだ欲望か？様々な想像をかき立てる「鏡」は、日常にありながらクリエイターにとっても多くの人にとっても、魅力的な対象ではないでしょうか？世界中のクリエイターがそれぞれの価値観で表現する「鏡：Mirror」の映像は、聖徳記念絵画館に大きく映し出され、そしてみなさんの心にどう映るでしょうか？

ファイナリスト作品　テーマ：『Mirror: 鏡』

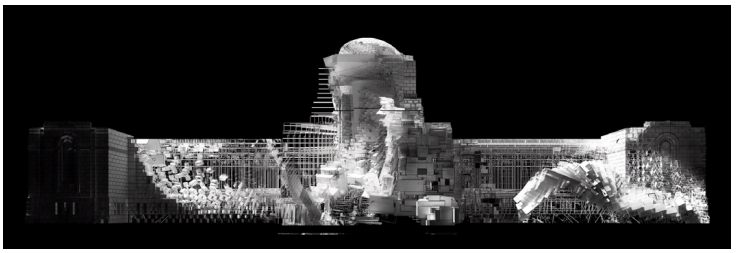


01. BBCDesign（日本）
タイトル：縁 -en-

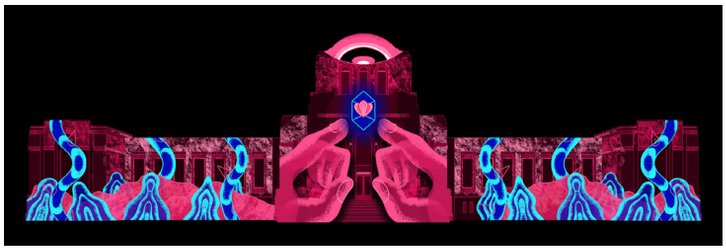


02. OOOPStudio（イタリア）
タイトル：Kairos

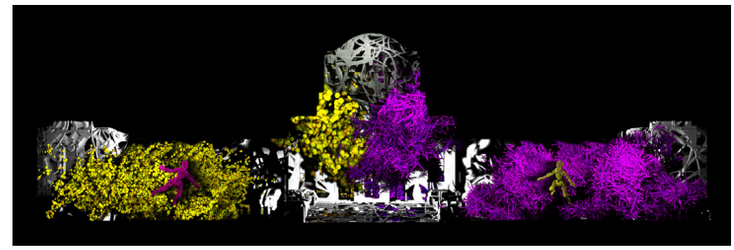
03. RodarStudio（チリ）
タイトル：Fictions



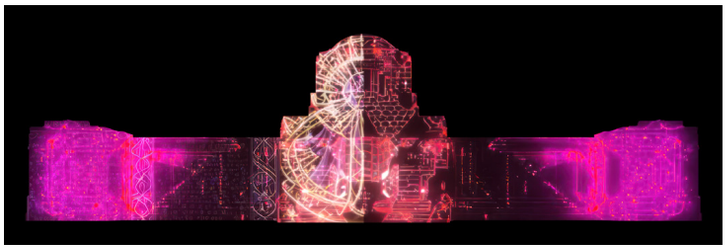
04. 凹凸工作室（中国）
タイトル：Beyond the Light



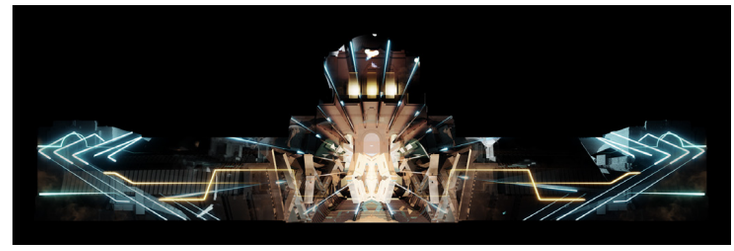
05. Eloi Février（フランス）
タイトル：Water Mirror



06. Svitlana Reinish（ウクライナ）
タイトル：Reflections of Possibility

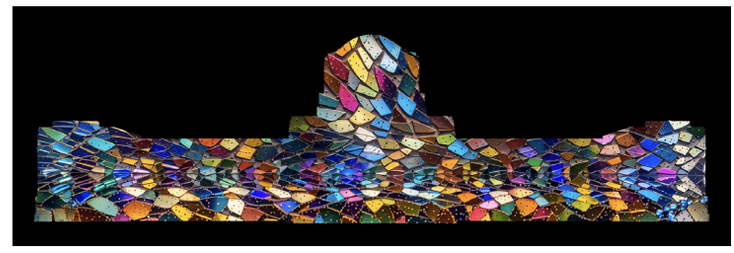


07. C.L.V.X（インドネシア）
タイトル：Polarhythm



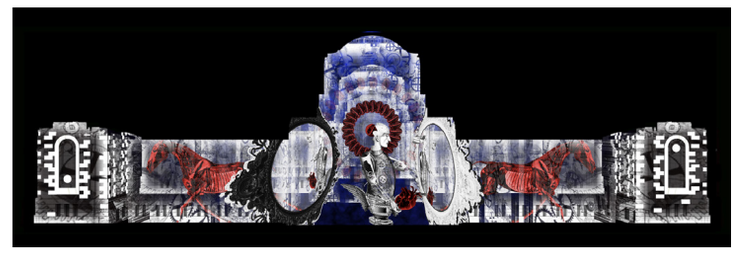
08. Photonic Tonic（メキシコ）
タイトル：A Hundred Times

09. Dreamcatcher Studios（インド）
タイトル：Real Eyes. Realise. Real Lies.

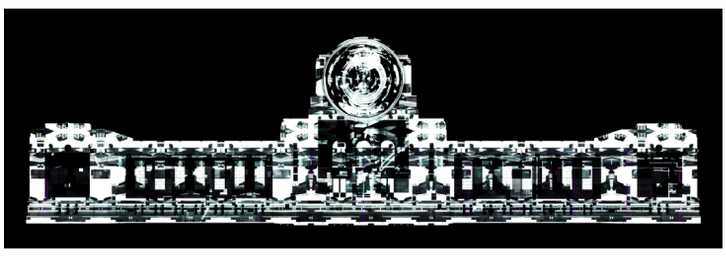


10. VLOOPY（ルーマニア）
タイトル：Reflections Between Realms

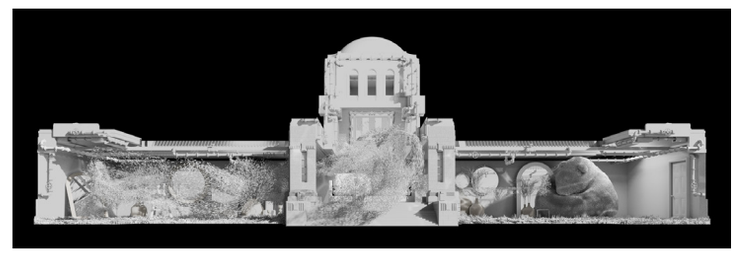
11. カジケン（日本）
タイトル：鏡が映す物語



12. Ari Dykier（ポーランド）
タイトル：Eternity

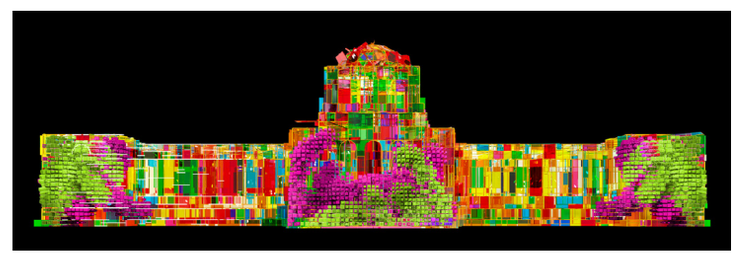


13. ruestungsschmie.de（ドイツ）
タイトル：REFRACTION³



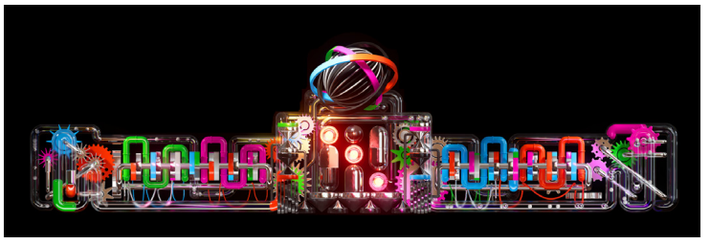
14. Kentaro Tanaka（日本）
タイトル：Room 808

15. Elektrick.me（ブルガリア）
タイトル：ECHO



16. Wong（中国）
タイトル：Clone

17. St.Frax（イタリア）
タイトル：Mindflection



18. Machineast（マレーシア＆インドネシア）
タイトル：Reflective Ascension

招待作品

本年度の招待作品には、プロジェクションマッピングのパイオニアであり、スペインを拠点に活動しているFilip Roca氏と、昨年生成AIを使った作品でグランプリを受賞した、ルーマニアのVali Chincișan氏の二組をお迎えします。長年の経験から生み出されるストイックな作品と、先進の技術をアート領域まで昇華させようとする2つの作品の対比は必見です。

タイトル：RADIANT

作品コンセプト

「RADIANT」は、光線が物体からどのように散乱するかを探求する光は物体に衝突して初めて人間の目に見える。私たちの目に映るのは、光が物体の表面に与える衝撃である。この現象にインスパイアされたこの作品は、絵画館のファサードをこの相互作用のキャンバスに変える。ファサードに現れる光の戯れは、新たな次元を創り出し、平凡な外観の捉え方を変える。この作品は、古典的な3D CGIアニメーションとジェネレイティブ・

エフェクトで構成されたデジタル・コラージュである。全体的な美しさは、建築の幾何学的形状を利用したミニマルで大胆なビジュアルを特徴としている。色彩はシンプルで、ほとんどが白と黒の濃淡で構成。単色のグラフィックは、時に赤、オレンジ、黄、緑、紫、青の色相を見せる鮮やかな色収差現象へと発展する。現代的な電子音が特徴的な音楽は、この作品のために特別に制作された。

Filip Roca（スペイン）

インディペンデント・デジタル・アーティスト。鮮烈に視覚に訴えかけてくるビデオマッピング作品で広く知られている。バルセロナとリスボンを拠点に、アニメーション、モーショングラフィックス、アートディレクションに10年以上携わる。2015年、建築ビデオ・プロジェクション、プロジェクション・マッピング、ライブ・ジェネレイティブ・ビジュアルに焦点を当てた個人プロジェクトに着手。それ以降、世界中で彼の作品が発表されている。世界各国のフェスティバルやインスタレーションなどを発表している。また、Animalux、The Macula、Hyperbinary、Bordos Artworks、Tigrelabなどのコレクティブやアーティストと共同制作を行う。

タイトル：En Garde Avant Garde

作品コンセプト

「En Garde Avant Garde」は、西洋における日本の浮世絵の出現に影響された20世紀初頭の芸術家たちのスタイルの活気あるミックスを探求している筆致、質感、色彩のダイナミックな動きを駆使し、伝統的な日本の美意識と西洋の近代芸術運動との出会いを捉え、異文化を鏡のように映し出す。マルセル・プルーストは、自身の作品に浮世絵を明確に引用しており、このテーマに深く共鳴している：真の旅の発見は、新しい風景を探すことではない。新しい目で見ることなのだ。その結果、異文化間の対話と芸術の進化を際立たせる、魅惑的で挑発的な視覚体験が生まれる。

Vali Chincișan（ルーマニア）

革新的なテクノロジーと豊かな文化的物語を融合させた作品で知られるビデオマッピングを専門とするマルチメディア・アーティスト。光、サウンド、ビジュアル・ストーリーテリングの要素を統合し、没入感を生み出す彼のアートは、伝統的な境界を超越している。そのクリエイティブな才能で国際的な評価と数々の賞を受賞。2023年だけでも、ダブリン、東京、ワイマールの権威あるフェスティバルで1位を獲得し、世界中の多様な観客と共鳴する彼の能力を証明している。ブラジルとスペインでそれぞれ高い評価を受けた『Life is Eryfg』や『Urban Tree』などの作品に反映されているように、彼はキャリアを通じ、一貫してビデオマッピングの限界を押し広げ続けている。

スペシャルオープニングショー

アンバサダーを務めるにじさんじの“いずれ菖蒲か杜若”、“ChroNoiR”、“ROF-MAO”の楽曲を使用したスペシャルオープニングショー。明治神宮外苑 聖徳記念絵画館を舞台に壮大なプロジェクションマッピングとして、にじさんじの楽曲を使用した最先端のカルチャーと伝統が融合したここでしか見られないエクスクルーシブな光のショーをお届けします。インスピレーションに彩られた、TOKYOの新たな“光”を体感してください。

各賞と副賞について

「1minute Projection Mapping Competition」では、5つの賞が用意されており、世界一となる東京都知事賞には優勝賞金200万円が贈られます。各賞には栄誉の象徴である特製のプライズプレートが贈呈されます。

GRAND PRIZE（東京都知事賞）

200万円、プライズプレート、副賞

SECOND PRIZE（TOKYO LIGHTS賞）

50万円、プライズプレート、副賞

THIRD PRIZE（審査員特別賞）

20万円、プライズプレート、副賞

Tokyo Tokyo PRIZE（Tokyo Tokyo賞）

10万円、プライズプレート、副賞

AUDIENCE PRIZE （オーディエンス賞）

10万円、プライズプレート、副賞

プライズプレートについて

受賞者に贈られるプライズプレートは、毎回その地域やテーマの特色を活かした特別なデザインで制作されます。今回は、東京が誇る伝統的な技術である江戸切

子と組子細工を組み合わせた特別な作品になっています。江戸切子は、多くの受賞歴を持つ堀口切子の三代秀石を継承する堀口徹氏が手掛け、伝統工芸士として注目を集めるその作風は、モダンなデザインと細かなカットを積み重ね、繊細なガラスの表情がとても美しい輝きを放ちます。組子は江戸組子建松の田中孝弘氏の手によるもので、伝統的な技術を活かしながら、自由な発想で現代のニーズにこたえる製品を次々と生み出しています。建具職人の最高の技といわれる組子は、その細かな木片から織り成される様々な模様の美しさ、わずかな狂いも許さない精巧さが圧巻です。この両者の工芸技術と、テーマである鏡を融合させた特別なデザインのプライズプレートは、世界的大会の栄誉の象徴となります。

▲ プライズプレートイメージ

オーディエンス賞

鑑賞後、下記に記載の「オーディエンス賞投票方法」をご確認いただき、お気に入りの1作品にご投票ください。

※最終日は公式YouTubeチャンネルで、全作品の上映と受賞式の模様をライブ配信します。

オーディエンス賞
投票方法

1. チケットサイトへ
2. 投票ボタンをクリック
3. 必要事項を入力
4. 投票

審査概要

世界一を決める審査員には、国内外の錚々たる有識者が並び、厳正かつ国際的な観点から審査されます。審査項目は全部で6項目あり、結果は各審査員の採点後に集計され、それをもとに協議が行われます。世界的な視点やその時代を鑑みた内容で議論がなされ、プロジェクションマッピングとしての技術的な視点はもちろん、「Mirror：鏡」という今回のテーマや映像表現シーンの状況、その時の時流に相応しい優勝者が選出されます。審査員はフランス、ルーマニア、スペイン、そして日本の4カ国のメンバーで構成されたグローバルな顔ぶれです。最終日の授賞式で今年のグランプリと各賞が発表されますので、その行方にご注目ください。

審査項目

1.独自性・新規性	表現者として最も重要な要素であり、 作品とクリエイター自身の価値となるポイント
2.コンセプト設計	「Mirror:鏡」というテーマを用いて表現し、 いかに説得力のある作品になっているか
3.映像制作技術	CG技術や3Dでの配光、色彩や配色など、 映像表現自体の美しさや技術的なクオリティ
4.建築との親和性	建物の造作と映像を組み合わせるデザイン力、 実際に投影した状態を想像する技術とセンス
5.音楽・音響効果	音楽や効果音によって、作品のスケール感も体験性も 全く変わる重要な表現要素
6.演出構成・完成度	短い作品中でも抑揚や飽きさせない流れを構築し、 作品としての完成度と総合演出力

審査員

石多 未知行（日本）

クリエイティブディレクター、空間演出家、
映像クリエイター

豊田 啓介（日本）

東京大学生産技術研究所特任教授、
NOIZ、gluon

川田 十夢（日本）

AR三兄弟

西村 真里子（日本）

株式会社HEART CATCH
代表取締役 プロデューサーCEO /
Producer HEART CATCH Inc.

Antoine Manier（フランス）

Mapping Festival ディレクター
（Director, Rencontres Audiovisuelles）

Filip Roca（スペイン）

デジタル メディア アーティスト

Vali Chincișan（ルーマニア）

Multimedia Artist specializing in
Videomapping

Stagecrowd 配信視聴方法

1. MY PAGE のチケット購入履歴
2. シリアルコードを確認・コピー
3. 配信視聴用 URL をクリック
4. 配信ページにシリアルコードを入力
5. 視聴

アンケート方法

1. チケットサイトへ
2. アンケートボタンをクリック
3. 必要事項を入力
4. アンケートに答える

FOOD

Brilliamo〜Burger's & Coffee〜

出店日：14日・15日・16日

こだわりのオリジナルバンズ&部位指定した和牛使用のビーフ100%パティ!!一度食べたら忘れらないとリピーターが続出するほど東京、神奈川で大人気!!!是非一度ご賞味下さい♪

kitchen.base707

出店日：15日・16日

kitchen.base707は東急東横線「学芸大学駅」に実店舗を併設しております。タコライスをはじめとした多国籍料理を展開しています。店舗でも人気のグリルチキンやチキンオーバーライスはリピート確定の一品となっています。ランチ以外にもおつまみやデザートもお楽しみください。

もあいの揚げパン

出店日：14日・15日・16日

沖縄ナンバーの"もあいのキッチンカー"です！インバウンド需要があるアイスチュロスをはじめスイーツを

中谷商店

出店日：14日・15日・16日

創業60年の肉の卸屋のキッチンカーです。中谷商店で販売してる商品は全て国産の黒毛和牛のみ！ブランド牛のお肉や黒毛和牛の牛タンやハラミをお召し上がりください。

〜The Waffle's〜

出店日：14日・15日・16日

ひんやりスイーツの専門店です。会場の熱気はそのままであなたの体を冷やします！「こだわりのフローズンフルーツけずり」「フルーツ×フラッペ＝フルッペ」「漬物金田監修　爽やかレモンきゅう」など夏らしいフードを提供します。

ねこもち

出店日：14日・15日・16日

パティシエ歴14年の店主が営む"過去イチ"デザートクレープ&コーヒーのキッチンカー"ねこもち"。"もち×ザク"食感で構成されたパーツはなんと10種

中心に展開しております！沢山の方々のご来店をお待ちしております！

ごっさむ

出店日：14日・16日

60年地元で愛され続けている、からあげ!!5代目である店主が横浜中華街、麻布十番アジアンキッチン、有名韓国料理店での修行を経てさらに進化したからあげです！

PUERTO

出店日：14日

南欧の食堂PUERTO(プエルト)です。山梨県富士北麓より、身体を元気にする食事をお届けします。

類!!まるでパフェのようなクレープをお届けします。

VW CAFE DOVE BLUE

出店日：14日・15日・16日

自家焙煎珈琲と、石焼き芋を販売しています。最も甘みを感じるポイントで焙煎した、新鮮な珈琲と甘い石焼き芋が自慢です。また、夏らしいメニューも用意してお待ちしております。

THE ?DEEP FRIED UNION

出店日：15日

北海道産食材をはじめ、国産野菜や魚を米油で揚げたフィッシュ＆チップスや、北海道チーズを使用したチリドックなど提供。フードに合うクラフトビール等もご用意致します。

※画像はイメージです。※各店舗の仕入れ状況等によりメニューが変更になる可能性がございます。